

## 若い人

夏の終りを告げる風が砂利浜を舐め  
カタカタと窓を鳴らす

眠りの中に浮き沈みする憧れと  
乳首をまさぐる指先を震えさせる不安

緑色をくすませる雲の覆いが  
深い水の底を映し出す

昨日と今日だけが意味を持つ  
私にとって、明日だけが意味を持つように

さわさわとしたさざなみの足音を  
息をするように吸い込む家々

この深い湾から抜け出すことと  
男を受け入れることとは同義となっている

人がその暮らしの営みを思うこと  
営々と繰り返されてきたそのこと

森で歌われているさえずりには  
夢を溶かしたり、そこへ別の夢を溶かしたり  
そういう薬効があるという  
若い人よ

(2008.8.17)